

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年11月24日

計画の名称	能代市の住みよい住環境及び水質保全の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	能代市												
計画の目標	能代市生活排水処理整備構想に基づいた事業を推進し、住みよい住環境を実現するとともに、良好な環境を創造する。 市民が良好な生活環境を確保するため、下水道の未普及対策を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,124	A	1,124	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	住みよい住環境実現のため、下水道処理人口普及率を47.4%(H30)から51.4%(H31)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)	47%	%	51%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
能代市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施する。	計画期間終了後（令和3年11月）
	公表の方法
	能代市ホームページにて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	能代市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与するため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率の目標を達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	人口減少等社会情勢の変化を踏まえた適切な汚水処理計画の立案により、今後、より効果的な汚水整備が可能となる。
特記事項（今後の方針等）	
今後も、人口減少等社会情勢の変化を踏まえた適切な汚水処理計画に基づき、引き続き計画的かつ効率的に汚水整備を実施し、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等、能代市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与していく。	



# 社会資本整備総合交付金

計画の名称	能代市の住みよい住環境及び水質保全の実現（重点計画）		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度（2年間）	交付対象	能代市

